

ふくしまからはじめよう。



応援隊通信



平成 26 年 10 月 vol.4

東日本大震災と原子力災害からの風化を防ぎ、復興へ向かって歩む福島県の姿を全国の方々にご理解いただくための情報発信を全国各地の福島県人会の皆さんと連携して行う「ふくしまからはじめよう。応援隊」情報発信事業、平成 26 年度は応募のあった 9 県人会の御協力により実施します。

「応援隊通信」では、全国各地の県人会の皆さんの活動の様子をご紹介します。

応援隊参加県人会の現地研修会

「ふくしまからはじめよう。応援隊」情報発信事業に取り組んでいただいている県人会の皆さんに、7月17日(木)から18日(金)にかけて、福島県内での現地研修会に参加していただきました。

初日は、県農業総合センターにて農産物の放射性物質検査について説明を受けた後、放射線量を測定する様子を見学しました。

その後、磐梯熱海温泉での全体研修会にて各県人会の活動報告と情報交換を行いました。



(全体研修会)

2日目は、産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所にて太陽光発電モジュールの試作ライン等を見学し、本県が震災及び原子力災害からの復興の柱と位置付け、「再生可能エネルギーさきがけの地」を目指す取組への理解を深めました。



(福島再生可能エネルギー研究所)

また、復興公営住宅建設現場や、子どもの屋内遊びのひろば「PEP Kids Koriyama」を視察しました。

2日間の現地研修を通じ、復興に向けて歩み続ける福島の姿をご覧いただき、正確な現状を県外の方に発信していただく一助になれば幸いです。

ふるさと全国県人会まつり 2014 に参加

東海福島県人会

本県の情報を東海地域に広く周知するため、9月6日(土)及び7日(日)の2日間、名古屋市の久屋大通公園で開催された「ふるさと全国県人会まつり2014」に参加し、本県の特産品の販売、観光PR等を行いました。毎年10万人を超える来場者で賑わうイベントで、今年は天候に恵まれたこともあり、16万人を超える来場者がありました。

多くの道県人会が出展する中、福島県をより強力にPRするため、当県人会では来年4月から始まるデスティネーションキャンペーンのキャッチコピー「福が満開、福のしま。」を前面に押し出した大型看板(720cm×90cm)を設置しました。大型看板の設置は、参加した道県人会の中でも当県人会のみであったため、遠くからでも非常に目立ち、本県のPRに大きな効果がありました。



多くのお客さまが当県人会ブースを訪れ、本県を代表する特産品である桃をはじめ、用意した商品は2日間でほぼ完売いたしました。

特に桃は非常に好評で、中には大量に購入し自転車に積んで帰られるお客さまもおりました。



その他、全国的に知名度のある喜多方ラーメンは当然のこと、ままだおるや家伝ゆべしをご存じのお客さまもいるなど桃以外の特産品も好評でした。

観光コーナーでは、訪れたお客さまに観光パンフレットを配布するとともに、観光地の案内や説明等を行いました。お客さまの中には福島県への旅行を計画している方や旅行したばかりの方もおり、本県の観光情報を熱心に聞いていました。

各道県人会が郷土芸能などを披露するメインステージでは、映画「フラガール」の影響等によりフラガールと言えば福島県とのイメージが定着してきていることから、当県人会ではフラダンスを披露しました。多くのお客さまがフラダンスに魅入り、ステージが終了するとたくさんの拍手が沸き起こりました。



次回も、各地の県人会皆さんの活動を紹介します。お楽しみに！

【編集・発行】

福島県 県民広聴室 TEL:024-521-7013 Eメール:koucho@pref.fukushima.lg.jp

